



ロータリーは機会の扉を開く  
Rotary Opens Opportunities

## 2020-2021 第18回例会

RIテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Open Opportunities

クラブテーマ

原点から未来へ Get Back To the Future

# 会報 No. 1133 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520  
会長：角谷 歩、副会長：西 崇秀、幹事：木所 壮太、出席・会報委員長：鈴木 康代

令和2年12月2日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA

担当：理事会

国歌「君が代」/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」：西 崇秀 さん

ゲスト なし

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	11月11日修正出席率	ビジター
	51名	46名	5名	11名	76.09%	100%	0名

### 会長挨拶

### 角谷 歩 会長

11月22日に当クラブが協賛する「第9回豊橋東ロータリークラブ杯&第1回東三河小学生6年生大会バレーボールフェスティバル」が30チーム250人の参加で盛大に開催されました。新型コロナ禍での準備は大変だった様ですが、発想を転換し、参加対象を豊橋から東三河に拡大し、より広い会場で十分な対策の下に挙行され、素晴らしいイベントになりました。なお、本日の例会は、昨今の新型コロナ感染急拡大と愛知県等による警戒レベル引き上げ、感染対策強化要請等を踏まえて、急遽スクール形式開催に変更させて頂きました。ご理解の程、お願いいたします。

### 本日のプログラム

1、「年次総会」12月2日、細則第4条に基づき、総会員51名中35名が出席した上で年次総会が開催されました。まずはじめに、11月10日開催の指名委員会において2022-23年度の会長には安田直樹、幹事には鈴木雅晶の各氏が選任されたとの報告があった後、2021-22年度の役員として、齋藤伸明（会長）・水谷朱美（幹事）・渡邊茂・平野正博・中島秀樹・松下泰三・西崇秀・安田直樹（会長エレクト）・柳瀬秀昭・角谷歩（直前会長）・鈴木雅晶（副幹事）・福井知裕・馬淵紀充・荒木聖行・中澤理の15名が、2021-22年度の役員となることが承認されました。併せて、齋藤エレクトの方針に基づき、当年度については「ロータリー情報・研修・会員選考委員長」を理事とする細則の改定が承認されるとともに、定款第7条に基づき2020-21年度財務の中間報告が川西会計より報告されました。

### 2、「イニシエーションスピーチ」

新本 康欽 さん 自己紹介と入会の経緯等お話しします。1977年8月24日生まれ43歳です。仕事は金属リサイクル業で、簡単に言えば金属スクラップの中間処理と自社でのスクラップの一部を鋳物材料としてリサイクルしています。祖父が創業し、私は3代目で、中島さんのシンキレーザさんには昔からお世話になっています。ロータリーと縁の無い僕が、昨年の夏にゴルフに誘われて、何も知らずに参加したら「ザ・豊橋東RCメンバー」の方々がいらして、その時は冗談半分でしたが、後日改めてお会いし、入会する運びとなりました。私は偶然が必然と思っていて、そのきっかけとなったのが6、7年前仕事で機械操作を誤って、右手の指を4本落とし、指を無くしかけた。手術が



上手くいって指はあるのですが、今も人差し指は短いままです。その時は、非常に痛かったのですが、楽観的な性格なので、あまり落ち込まなかったです。左利きの為不自由はありませんでした。その時、僕は将来、指を落とすから左利きに生まれてきたのかな、と思いました。そこから、一見偶然と思われる事も、何か意味があるとの気持ちが強くなり、話は戻りますが、たまたま行ったゴルフで出会った方々が入会のきっかけになった事も意味があり必然なのかなと前向きにとらえている次第です。

角園 清 さん 豊橋東RCに入会させて頂き、1年経ちました。まだまだロータリーについて皆様に教えて頂きたいです。私のことを少しでも知って頂きたい、生い立ちや職歴についてお話しします。生年月日は1970年7月26日。鹿児島で生まれ、父の転勤で、名古屋、静岡、東京と移りました。学生時代のエピソードは、高校時代のテニスで全国大会に出た事位ですが、緊張しガチガチで記憶が無く惨敗しましたので以上とします。大学を卒業し、1995年当社に入社しました。翌年は山一、三洋証券の破綻と証券不況の中で「次はうちか?」と思い、開拓したことを覚えています。営業員時代は田園調布、栄、本店で課長となり、京都を経て、大井町で支店長を拝命しました。その後、合併証券のワイエム証券広島支店、そして豊橋支店です。当社は地銀と合併証券の設立を推し進め、山口FG、横浜銀行、を始め、計7地銀と合併証券を設立し、支店数は73店、当社62店と全部で135拠点を構えております。コロナ禍の中、当社は、在宅を増やし、私も半分以上が在宅です。これまでも証券不況、米国同時多発テロ、東日本大震災、リーマンと幾多の困難がありながら、市況は約30年来の高値となっております。浮き沈みの大きい業界に身を置いているからこそ、コロナ禍の困難に打ち勝つことを強く信じています。ご縁で入会させて頂いた豊橋東RCの活動にご助力したいと思っております。



### 3分間スピーチ

### 松下 泰三 さん

「負動産」のお話をします。遺産分割で、神奈川県藤沢市に自宅、湖西市に農地があり、両方共、不動産屋には売れないと言われた。相続人は二つに分かれており、双方、引き継ぐ事が負担になる事から、渋々、依頼者が引き継いだ事例があり、つくづく、「負動産」は厄介だと思いました。その他、幾つかの事案をお話しします。



原稿：角園 清 さん / 写真：鈴木 健嗣 さん